

芦北町議会だより



うたせ

第56号

平成31年
2月5日発行



内野小学校6年生が議会を見学

- 12月定例議会……………P 2
- 補正予算等の主な内容……………P 3
- 議案の審議結果……………P 4
- 一般質問……………P 5 ～ 9
- 委員会活動・研修報告等……………P10～11
- 議会のうごき・編集後記……………P12



真剣に見学する児童

12月定例議会



12月定例議会は、12月11日に召集され、13日までの3日間の会期で開催しました。

上程された議案は、平成30年度一般会計補正予算ほか、特別会計補正予算5件、条例の一部改正5件、市町村総合事務組合規約の一部変更、財産の無償貸付けについて、教育委員会教育長及び監査委員の同意で、いずれも審議の結果、原案のとおり全会一致で可決しました。

また、和解及び損害賠償額の決定に伴う平成30年度一般会計補正予算ほか、議案3件、教育委員会委員の同意1件が、同日追加日程として上程され、原案のとおり全会一致で可決しました。

その他、熊本県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙については、地方自治法118条第2項の規定によって、「指名推薦」により竹崎町長が当選しました。

最終日には、5議員が登壇し、町政全般にわたり一般質問を行いました。（議案の内容と結果は、4ページに記載）

主な質疑

質 ふるさと応援寄附金額が当初の見込みより増額しており、大変良いことだと思うが、返礼品は寄附金額の30%ぐらいで出しているのか。

答 ふるさと応援寄附金に係る返礼品の割合は、国が3割と申し上げており、当初から3割を基準にしている。

質 危険ブロック塀安全対策で40万円の補助金が計上してあるが、民間のブロック塀なのか、公共的なものなのか。また、補助金の財源内訳はどうなっているか。

答 民間の危険ブロック等の撤去に係る費用である。財源としては、国が半分の20万円、県と町がそれぞれ4分の1の10万円の負担となる。

質 公衆無線LANの環境整備工事1,096万3千円計上されている。Wifiを設置されると思うが、設置予定場所はどこか。

答 場所については、役場本庁舎、田浦支所、町民総合センター、道の駅、星野富弘美術館など、官公署3件、避難場所8件、観光案内所4件、美術館1件、合計16カ所を予定している。

【人事】

教育委員会教育長の任命に同意



いわた しげよし
岩田 繁義氏
(田浦町2)
新任

教育委員会委員の任命に同意



とく お さとみ
徳尾 里美氏
(大新)
新任

監査委員の選任に同意



い がわ りょういち
井川 良一氏
(女新)
新任

補正予算を可決 一般会計、特別会計等を併せて 12,755万円を追加

(△はマイナス)

会 計 名	補正額(増額)	補正後の総額
一 般 会 計	10,879万円	101億 512万円
国民健康保険事業特別会計	1,472万円	30億6,123万円
介護保険事業特別会計	△30万円	23億4,637万円
生活排水処理事業特別会計	31万円	5,631万円
芦北町有温泉事業特別会計	52万円	1億 612万円
水 道 会 計	351万円	3億4,552万円
今回補正が行われなかった会計 (公営企業会計を除く)	—	5億3,300万円
合 計	12,755万円	165億5,367万円

補正予算の主な事業

一般会計

ふるさと応援寄附金基金積立金・・・・・・・・・・2,000万円
林道施設災害復旧工事・・・・・・・・・・1,917万円
土地購入費・・・・・・・・・・1,290万円
公衆無線LAN環境整備工事・・・・・・・・・・1,096万円
ため池ハザードマップ作成業務委託料・・・・・・・・972万円
マイクロバス購入費・・・・・・・・・・788万円

国民健康保険事業特別会計

療養給付費・高額療養費・・・・・・・・・・1,318万円
人事院勧告に伴う人件費

介護保険事業特別会計

人事院勧告・人事異動に伴う人件費

生活排水処理事業特別会計

人事院勧告に伴う人件費

町有温泉事業特別会計

人事院勧告に伴う人件費

水道事業会計

人事院勧告・人事異動に伴う人件費

人事院勧告とは

国家公務員の給与水準を景気により上下する民間企業従業員の給与水準と均衡させることを基本に、国会及び内閣に対して人事院が行う報告と勧告。

平成30年 第5回芦北町議会定例会議案等の審議結果

区 分	議 案	内 容	審議結果
議案第49号	平成30年度芦北町一般会計補正予算(第5号)	概要等は、P 3 に掲載	可 決
議案第50号	平成30年度芦北町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃	可 決
議案第51号	平成30年度芦北町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃	可 決
議案第52号	平成30年度芦北町生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	〃	可 決
議案第53号	平成30年度芦北町有温泉事業特別会計補正予算(第2号)	〃	可 決
議案第54号	平成30年度芦北町水道事業会計補正予算(第1号)	〃	可 決
議案第55号	芦北町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に基づく給与改定	可 決
議案第56号	芦北町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	可 決
議案第57号	旧芦北町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	可 決
議案第58号	芦北町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	可 決
議案第59号	芦北町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	国で定める家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う条例改正	可 決
議案第60号	熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更について	熊本県市町村総合事務組合の一部の構成団体が名称を変更したため	可 決
議案第61号	財産の無償貸付けについて	旧計石小学校への企業誘致に係る町有財産の貸付け	可 決
議案第62号	平成30年度芦北町一般会計補正予算(第6号)	概要等は、P 3 に掲載	可 決
議案第63号	和解及び損害賠償額の決定について	台風災害で発生した事故の損害賠償額の決定及び和解	可 決
議案第64号	和解及び損害賠償額の決定について	〃	可 決
同意第3号	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	概要等は、P 2 に掲載	同 意
同意第4号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	〃	同 意
同意第5号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	〃	同 意



坂本議員

一般質問 (抜粋)

計石港の廃船や 護岸環境など、どうする！

質 計石港内の廃船や放置してある波止場のごみ・防波堤・漁港の護岸など衛生環境・漁港・防災・景観や観光面など安全性にそれぞれ問題があると思われる。町はこの現状をどう認識しているか。

答 町長 環境上、あるいは衛生上、安全上、今後、我々もしっかりと対応していかなければいけないと思う。

答 建設課長 放置されている廃船等の処分などについては、県に対応をお願いしている。

質 計石港の廃材ごみが放置してある波止場の使用許可の権限はどこにあるのか。

答 建設課長 佐敷港の管理者である県が、漁船、運搬船などの係留や野積み等に関し、使用の許可を出している。

質 この件について、地元住民と県、町と一緒に問題解決を図るために、話し合う機会をつくるよう日程調整を要請したがどうなっているのか。

答 建設課長 現在、管理者である県港湾課において、現状の整理と今

後の対応について協議中と伺っている。なお、協議の結果がでたら、町へ報告することである。



港の廃船

町内小中学校体育館への エアコン設置は！

質 現在、町内の小中学校体育館にはエアコンの設置がない。体育館は、洪水、崖崩れ、地震等の災害発生時に住民の指定避難所としての役割を果たしている。この小中学校体育館に消防庁の緊急防災減災事業債の拡充事業を活用してエアコン設置する考えはないか。

答 総務課長 現在、避難所に指定している小中学校体育館は9施設であるが、全ての体育館にエアコンの設置はない。避難所開設が短期の場合、災害規模に

もよるが、学校運営に支障がない限り、エアコンが設置してある教室等を利用している。なお、避難所開設の長期化が予想される場合は、避難所運営と学校運営等を総合的に判断し、設備の整った主要5ヶ所に集約する計画であるので、現時点では、学校体育館のエアコン設置は考えていないが、今後、財政的な面も含め、検討したい。

生活保護の状況、住民本位の 対応及び捕捉率の向上は！

質 自治体が生活保護にどう向き合うのかが問われているが、直近の芦北町の生活保護利用世帯数と人数はそれぞれどれだけか。

答 福祉課長 本町における平成30年12月1日現在の生活保護利用世帯数は、107世帯で、人数は138人である。

質 厚生労働省の推計では、生活保護基準以下の所得で暮らす世帯が2016年は705万世帯であり、そのうち実際に生活保護を利用していた世帯は161万世帯、22・9%である。全国的に生活保護の捕捉率が低いことを町は認識しているか。

答 福祉課長 所得を基準とした場合の生活保護の捕捉率は数値の上からも低いと認識しているが、本人の意思により生活保護を受けないなど様々な要因もあり、捕捉率に影響しているものと考えている。

質 生活保護は最後のセーフティネットであり、生活に困った方を確実に制度利用に導いていくことは社会全体の安全網でもある。自治体は生活に困った方たちがSOSを出す契機にできるように、分かりやすい広報が求められると考えるが、町の見解は何か。

答 福祉課長 分かりやすい広報は、当然必要であると考えている。

質 生活保護制度のあらましを記載した芦北福祉事務所の生活保護のしおりは、町民にとって分かりやすく丁寧なおりであると考えているか。

答 福祉課長 生活保護を申請しようと考えられている方に、生活保護制度の仕組みや生活保護になつてからの権利・義務について、正しく理解していただくために、分かりやすく説明したものであると考えている。

一般質問 (抜粋)

小・中一貫教育の推進に向けての対応は！



寺本議員

質 学校教育については、児童生徒が集団の中で多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことが重要である。本町においては、小中学校で平成20年度からの10年間で347人が減少しており、今後も少子化が進む中で、多くの課題が懸念されている。文部科学省は少子化時代の活力ある学校づくりのため、小中一貫教育の推進を行っているが、田浦小学校と中学校は隣接しているの、好条件であると考えられるが、連携した教育として取り組む考えはないか。

答 教育長

小中一貫教育を前提としていないが、田浦小学校と田浦中学校においては、出来る範囲の教育連携は行っている。

答 教育課長

図工、美術の教科では、合同で写生大会を行ったり、中学校の教諭による小学校の児童に対する卒業式の歌の指導や水泳指導、毎月相互に授業参観を行うなどの取り組みを行っている。また、行事にお

いても、遠足や避難訓練を合同で行うなど、連携協力して行っている。

質 両校に聞いたところ、小中連携に近い考えで推進していると受け止めたが、その成果はどうか。

答 教育長

田浦小学校の児童が田浦中学校の生徒と授業や行事を通して交流をしたり、中学校の教諭から指導を受けることで、小学校から中学校に進学したときに、学習内容や生活リズムの変化に馴染むことができず、いじめが増加したり、不登校になったりする現象、いわゆる中1ギャップの低減や早期解決につながり、スムーズな移行ができていると考えている。

質 田浦中学校の運動会は100人足らずで、年々寂しいものになっているが、運動会や文化祭の行事について、合同で実施する考えはないか。

答 教育課長

児童生徒が減少する中、行事の合同開催については、児童生徒、保護者の参加数の増

加が見込め、盛大に開催することができ、また保護者の負担軽減にもつながるため、良い取り組みだと思っている。なお、開催にあたっては、開催時期の調整、また保護者への説明など課題もあるので、各校長が協議を行い、検討することとしている。

質 一貫教育について、他校の取り組み状況はどうなっているか。

答 教育課長

吉尾小学校については、少人数複式学級で、佐敷中学校の校区内にあり遠隔地であることから、移動に時間がかかり、中学校との連携については行っていない。教育の機会均等は大事なことであるので、今後検討したいと思う。大野小、内野小についても、現在行っていないが、今後検討したいと思う。

質 これまで、教育委員会では小中一貫教育について検討したことはあるのか。

答 教育長

現在のところ、検討していないが、学校の統廃合や校舎

の建て替え等の際に検討する必要があると考えている。

小中学校の犯罪防止対策は！



質 小中学校において門扉やフェンス等に不備が見受けられるが、調査の上、整備する考えはないか。

答 教育長

小中学校における犯罪防止対策については、施設の警備委託、犯罪の予見・抑止や事件の早期解決のために、防犯カメラを設置するとともに、不審者に対する警察機関と連携して合同避難訓練などを行っている。学校によっては、門扉やフェンスのない箇所もあるので、整備についてはほかの対策等も含めて、総合的に検討したいと思う。



川尻議員

一般質問 (抜粋)

通学路の安全対策 早急な対応を！

質 2018年6月18日発生した大阪北部地震において通学中の女児が学校のプールにあるブロック塀が倒れ、命を奪われた。それを受け、本町も各学校内等ブロック塀の点検をし、撤去等対策がなされた。通学路の安全対策について、通学路にかかるブロック塀など、通学路の安全点検はどのようなになっているのか。

答 教育長

芦北町通学路安全推進会議を毎年開催して、本年度は通学路におけるブロック塀倒壊など危険箇所を加えて実施した。

答 教育課長

危険箇所が小中学校から25カ所上がってきている。

質 点検において、危険箇所があれば速やかに改善すべきではないか。

答 教育課長

推進協議会のメンバーで、熊本河川国道事務所、芦北地域振興局土木関係、芦北警察

署、町担当課が現地を確認、それぞれの立場で対応していただくことになる。

まとめ 教育委員会としての対応は、危険箇所を把握し児童生徒や教職員に対して、周知を行うことだけではないのか。安全な通学路に最善策を取ることはできないのか、速やかに対応されたい。



ブロック塀整備前（田浦中）



ブロック塀整備後（田浦中）

プレミアム付商品券による 地域経済効果は！

質 ここ数年、1割儲かる券として商品券が芦北町商工会で発行され、町から毎年助成されている。この商品券は、1人、また、1世帯いくらまで購入できるのか。

答 商工観光課長

1人当たり7万円まで、1世帯35万円まで購入可能となっている。

質 商品券を取り扱う町内商店、事業所の数は何件か。また、業種別の売上高はどうなっているか。

答 商工観光課長

参加事業所数は、本年度が240事業所となっている。平成29年度の業種別の売上は、小売等1億3,673万4千円、建設等2,586万7千円、自動車関連1,447万3千円、飲食・宿泊等908万4千円、理容等337万7千円、その他846万5千円となっている。

質 小売業で、量販店5事業所の占める割合はどれくらいか。

答 商工観光課長

町外資本の事業所は、5事業所で、平成29年度が5,066万円、割合で25・59%である。

質 町から2千万円以上の補助が出されているが、事業の実施に際し商工会とどのような協議を行っているのか。

答 商工観光課長

商工会との協議は発売時期、使用する時期、販売中のトラブル等はないか、必要に応じて協議している。また、販売が終わると、今後の検討と、3月頃事業所のアンケートをとって頂いている。

まとめ 消費者の意見を聴くことも必要であり、事業所も消費者共に有効な活用が更に行えるよう知恵を出してもらいたい。

一般質問 (抜粋)

町内で働く場所確保の 取組みは！



荒川議員

質 働く場所の確保として企業誘致が必要であるが、なかなか厳しい現状にある。本町は光通信網の整備が進み、町内各地でのインターネット環境が整いつつある。その環境を活かし、IT企業のサテライトオフィスなど誘致を進める考えはないか。また地元雇用の創出をどのように考えているのか。

答 町長

熊本電力株式会社による旧計石小学校へのサテライトオフィス、マイニングファームの整備が計画され、平成31年4月の供用開始を目指している。地元雇用の創出に関しては、進出企業との調整を図りながら、雇用につながるよう継続的に取り組んでいく。

質 IT企業が求める人材を町としても育成し、芦北町にサテライトオフィスを出したと思うってもらえるような環境整備も必要になる。芦北高

校の部活動にIT部を創設したり、町民講座などでもIT講座などを設けることにより、人材育成の観点からも企業にとって魅力的な環境を作ることも必要だと思うが、どのように考えているか。

答 商工観光課長

人材育成の視点は重要だと認識している。進出企業と連携したセミナーなども考えられると思うが、どのようなアプローチが良いかについては、今後検討したい。

御立岬公園の設備の 老朽化対策は！

質 御立岬公園を芦北海浜総合公園と同様に都市公園に指定することで、老朽化施設を改築・更新していく考えはないか。

答 商工観光課長

都市公園に指定した場合、国の交付金などの活用が可能となり、財源的なメリットが

確保できる一方、交付決定までの期間が数年に及ぶことや、現有施設の更新を対象事業としており、新たな遊具の導入などは原則対象外となる。これらを踏まえ、町の独自性のある施設整備、遊具導入などを担保するためには、町単独で財源などを確保しながら整備を進めるとの結論に至った。

子育て環境の取組みは！

質 本町には子どもが病気になるたときに預けられる施設がなく、親も仕事を休まざるを得ない環境にある。病気のときも子どもを預かってもらえる病児保育について、どのように考えているか。

答 福祉課長

病児保育については、以前取り組んでいたが、利用者がほぼゼロの状態であったので、今後の課題とする。

質 地元の病院などと連携し

て、今後、取組を検討する考えはないか。

答 福祉課長

八代市、芦北町、氷川町で定住自立圏の協定があるが、その中で来年度から八代市と氷川町が協定を結んで、病院内で病児保育を行うという話も聞いている。広域で行っていくというのも一つの考えではないかと考えている。

質 本町での児童虐待の実態はどうか。また、何か取組みを行っているか。

答 福祉課長

現在、児童虐待10件のケースに対応しており、その内訳は育児放棄5件、身体的虐待2件、心理的虐待1件、その他ひきこもり等である。取組については、児童虐待の相談、情報提供、関係機関の調整、家庭訪問、要保護児童対策地域協議会におけるケース会議の開催等を行っている。



藤井議員

一般質問 (抜粋)

老人公衆浴場無料及び割引入浴料補助券の 交付率向上の対策は！



老人公衆浴場無料及び割引入浴料補助券

質 高齢者の方に憩いの場を提供し、社会福祉の向上を図るために実施している「老人公衆浴場入浴無料券」の過去5年の交付率は何か。

答 福祉課長

平成25年度37・22%、平成26年度37・49%、平成27年度37・14%、平成28年度34・40%、平成29年度34・46%となっている。

質 交付を受けられている方々の地区別の交付状況はどうなっているのか。

答 福祉課長

温泉施設が近くにある地域は、交付率が高い傾向になっている。

質 これまで、社会の第一線で活躍してこれ、頑張つてこられた先輩方を労るという趣旨からも、大変意義のある良い事業と認識している。しかし、交付率は過去5年平均で約36%と低く、地域間での偏在もある。この結果は、無料券の使用が公衆浴場の入浴に限定されているからであると考え。もっと多くの方に利用して頂き、また地域間の偏在を減らすためには、大胆な工夫や対策が必要と考える。この無料券をバスやタクシー、温泉プールや他の施設、あるいは商品券など、公衆浴場の入浴以外にも、幅広く利用できる無料券や割引券に変更する考えはないか。

答 町長

福祉行政は、多くの方々、そして地域に偏在することなく、裨益できるような政策が好ましい。この事業は、統計からみても、温泉地に近い方々の利用が圧倒的である。今回の提言は、当該事業について、改めて考えるきっかけになり、良い提言として受け止める。

スポーツの振興による 町の活性化は！

質 近年の本町出身者の競技実績と大会、合宿などの誘致実績はどうか。

答 生涯学習課長

平成29年度の全国大会入賞者は、バドミントン、空手など7種目22名となっており、大会、合宿の誘致実績については、ボクシングの世界タイトルマッチ、大相撲巡業芦北場所、バレーボールプレミアリーグなどがある。継続されている主な大会は、藤井瑞希杯バドミントン大会、デコポンカップ新体操大会、合宿では、大相撲尾上部屋合宿などがある。

質 各種大会開催等は、交流人口の増加に繋がっているか。

答 生涯学習課長

例として、芦北うたせ杯ジュニア空手道大会は、今年で20回目を迎えるが、第1回大会では、参加者150人、関係者300人であったが、昨年は、参加者1,000人、関係者を含め約3,000人

に増加している。また生涯学習課所管の体育施設の利用者数をみても、平成20年度は約7万4千人、昨年度は、14万8千人となっており、2倍に増加している。結果として交流人口の増加に繋がっていると認識している。



うたせ杯ジュニア空手道大会

まとめ 選手が活躍すれば、地域が盛り上がる。また、本町の知名度アップにも寄与し、来町者も増加する。助成金についても、財政上の課題もあると思うが、一生懸命練習し努力して晴れの舞台に出場する選手に支給されるものなので、しっかりと予算を確保し、選手の後押しとなるよう継続して取り組んで頂きたい。

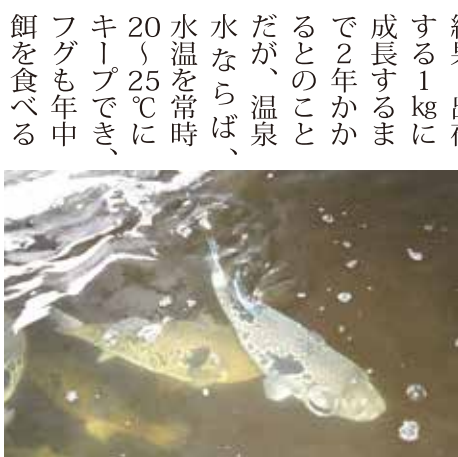
議員視察研修報告

期日：平成30年10月24日～26日
場所：栃木県那須烏山市、東京都多摩市

昨年10月24日から3日間の日程で、栃木県那須烏山市と東京都多摩市の二か所の施設を視察した。那須烏山市の施設は、温泉水を利用しているトラフグの養殖、販売をされている「株式会社 夢創造」を視察した。

この会社では、地域資源である温泉水を利用し、養殖には、町内の閉鎖した民間のスイミングプール跡を活用し、稚魚を購入、温泉水で養殖し、販売されている会社で、近くに直営のフグ料理店も運営されていた。通常、トラフグは海で養殖されるが、

海は冬場になると水温が下がり、フグが食欲を失い、餌を食べなくなる。結果、出荷する1kgに成長するまで2年かかるとのことだが、温泉水ならば、水温を常時20～25℃にキープでき、フグも年中餌を食べる



養殖トラフグ

ので、通常の半分の1年で出荷できるとのことであった。また、海ならば赤潮など自然リスクが危惧されるが、室内なのでその心配もない。塩分も人工的に最適な濃度に調整できる。また、稚魚購入から養殖、販売まで独自で一貫して行っており、低価格で高品質のフグを安定して出荷することに成功。2015年は、このトラフグ目当てのふるさと納税額が、前年の約8倍に跳ね上がったとのことである。

海がない栃木県で、「トラフグの養殖」という発想も実に素晴らしい。海がないが故に、室内での養殖というアイデアが浮かんだのだろう。町の地域資源をうまく活用し、地域の活性化、雇用の促進に繋がっている良い成功例であった。

次の視察先は、東京都多摩市にある、図書館と児童館の複合施設「唐木田コミュニティセンター」を視察した。この施設は、2階建てになっており、1階に図書館とカフェ、2階に児童館と会議室、音楽室があり、建物中央部にはエレベーターが併設されていた。

この図書館の運営は、プロポーザル方式で選定した事業者が業務委託されており、①借りた本をネットで検索、予約が出来る。②市内7つの図書館であれば、どこに返却してもよい等が特徴との説明であった。また、市内の小学2年生を対象に、定期的に図書館に招待して、本に興味を持ってもらう取り組みがされていた。



図書館見学の様子

立地環境であった。週末は市外からの来館者も多いとのこと、**「地域子育て支援の拠点」という位置付けがされており、小さい子供から高齢者まで老若男女問わず利用できる施設であると感じた。**
今回の視察を参考に、本町の地域資源を改めて検証し、地域活性化及び雇用促進、また建設予定のコミュニティセンターに於いても、誰もが利用し易い施設となるよう、積極的に取り組んでいきたい。
(藤井)

2階の児童館は、運営は市の直営であり、スタッフも市職員であった。この児童館は、①利用児童は登録制。②一部のスペースの利用時間を幼児・児童と中・高校生に区別。③日曜も開館等が特徴とのことであった。

この施設の周辺は、数千人規模の集合住宅地(団地群)で、駅から徒歩圏内という利便性に優れ、更には近くに大学もあり、非常に恵まれた



視察研修の様子

文教厚生常任委員会調査報告

◎町内小中学校の安全・安心に関する調査

今回の調査は、平成30年6月18日に発生した大阪府北部地震により、登校中の女子児童がブロック塀の下敷きになり死亡したことを受け、本町では執行部の素早い対応により、危険度の高いブロック塀は全て撤去されました。

当委員会では、11月8日全委員が出席し、現地の確認と状況調査を行いました。

最初は佐敷中学校、そして芦北幼稚園、田浦小学校、田浦中学校など現場の状況を確認し、内野小については写真を見ながら、教育課職員から説明を受けました。

調査した結果、一部工事途中の箇所もありましたが、今後はフェンス設置などを行うとのことでした。

私達委員会では、今後も児童・生徒の安全・安心の町づくりに邁進してまいります。



佐敷中学校の調査の様子

すごい迫力!!

内野小学校6年生が議会を見学

12月定例会最終日、内野小学校6年生の児童8名が本会議を見学されました。

この日は、一般質問の日で議会の雰囲気十分味われたことと思います。

質問者もはじめてのことと、気合十分で質問に立たれました。

後日、感想文が届けられましたので、一部を紹介します。

○「議員の人は、自分の意見を強くはっきりと述べ、ただすごいと思いました。」

○「学級の話し合いも、議会のみなさんのような話し合いをしたいと思いました。」

○「町の全体のことを考え、今どんなことがおこっているか、その問題点を言っていて、しっかり考えていることがわかりました。」
このような感想が他にもたくさん寄せられました。

児童の純心で素直な気持ちがとてもかわいく感じました。

内野小学校6年生の皆さんありがとうございました。

お世話いただきました担任の先生には心より感謝申し上げます。



内野小学校6年生の皆さん

平成30年度町村議会広報研修会及び
議会広報委員会視察研修(佐賀県基山町)



町村議会広報研修会

平成30年度町村議会広報研修会が11月13日
グランメッセ熊本で開催されました。県内町
村議会から約170人が出席し、芦北町議会
広報委員会からは6人の委員が出席しました。
研修会では、過去最多の30町村から応募が
あった第14回熊本県町村議会広報コンクール
の表彰が行われた後、熊本日日新聞社NIE
専門委員で、熊本大学客員教授越地真一郎氏
により、「今、脱皮の時!!」新時代の議会広
報へチャレンジ」と題して講演が行われまし
た。また、今回入賞した町村議会の広報委員
が登壇しパネルディスカッションが行われ、
編集における様々な質問が出されるなど、と
ても有意義な研修となりました。

次に、11月14日佐賀県基山町で議会広報
委員会視察研修を行いました。

基山町は、鳥栖市に隣接し交通の利便性
もよく佐賀県の東の玄関口となっており、
面積約22㎢(芦北町の約10分の1)人口1
7,350人(平成30年9月末現在)の町
です。

広報委員会の編集体制は、任期を2年と
定められており、議員任期の中で交代で作
成しているとのことでした。町民に議会の
様子が分かるように工夫することを編集方
針に掲げられ、議会活動や町の動きが詳細
に町民目線で書かれており、レイアウトや
文字の大きさ等、工夫され読みやすく、今
後の広報活動に大変参考になりました。



議会広報委員会視察研修

議会のうごき

- 11月 6日 南九州西回り自動車道の早期実現に
関する後期要望活動(東京)(~7日)
- 13日 熊本県町村議会議長会広報研修会(熊
本市)
議会広報委員会視察研修(佐賀県基山
町)(~14日)
- 14日 南九州西回り自動車道建設促進大会
(東京)
- 21日 第62回全国町村議長大大会(東京)
熊本県関係国会議員要望活動(東京)
- 12月 5日 議会運営委員会
全員協議会
- 11日 議会運営委員会
12月定例議会(議案審議)
- 13日 12月定例議会(一般質問)
議会広報委員会
- 25日 水俣芦北広域行政事務組合議会
- 1月17日 議会広報委員会

次の議会は3月上旬の予定です。

議会広報委員会

	委員	委員長	委員
〃	〃	〃	〃
藤井公輔	宮内道一	寺本順美	川尻成美
			林田耀宏
			荒川知章

編集後記



立春を迎え暦の上では春と
なりました。今年の正月は平
成最後の正月で、和やかに過
ごされたことと思います。心
からお慶びを申し上げます。

12月の定例会は、平成30年
最後の議会で一般質問には5
名の議員が登壇されました。

また、内野小学校の6年生
の児童が傍聴されるなど、活
気にあふれる議会となりました。

国は5月1日の新天皇即位
に伴って新元号を4月1日に
事前公表されます。

国民にとって歴史的な節目
の年になりますが、これまで
どおり平和で心豊かな国であ
りますことを心からお祈りし
ます。
(寺本順一)